

2023 年 10 月 26 日

遺伝子組換えダイズを収穫しました。

2023 年 7 月 13 日に承認を得た*「除草剤グリホサート及びグルホシネート耐性ダイズ（承認番号 23-46P-0006）」の栽培試験を、第一種使用規程に基づき、筑波大学 T-PIRC の隔離ほ場（模擬的環境試験圃場 V）で開始した栽培試験において、10 月 25 日に収穫作業を行いました。まだ越冬性を調査するための区画での栽培は継続しています。

実験内容：遺伝子組換えダイズと非遺伝子組換えダイズの生育特性と成熟期後の低温下での越冬性を調査する。

材料：除草剤グリホサート及びグルホシネート耐性ダイズ（OECD UI:DBN-09004-6）と宿主である非遺伝子組換えダイズ（品種：Jack）

栽培方法：2023 年 7 月 14 日、隔離ほ場内に種子を播種した。試験区は、株間 20 cm、畝間 65 cm、1 畝 2m 長の列を 4 列で 1 プロットとし、遺伝子組換えダイズ 4 プロットと非遺伝子組換えダイズ 4 プロットを交互に配置し、計 8 プロットを生育特性区として配置した。また、越冬性調査区として、遺伝子組換えダイズ 2 列、非遺伝子組換えダイズ 2 列の計 4 列の 1 プロットを設けた。

8 月中旬から 9 月中旬の間に開花期を迎え、10 月 25 日に収穫を行った。

現在、交雑性を調査するための一部の個体と、越冬性調査のための区画の個体はまだ栽培をしており、今後調査を行う予定です。

写真左上 収穫前のダイズの様子

写真右上 収穫時の形質調査の様子

写真左下 収穫したダイズを干した様子

写真右下 収穫後のほ場の様子（交雑性調査用、および越冬性調査用の個体はまだ生育している）



* 農林水産省 HP より

https://www.maff.go.jp/j/syouan/nouan/carta/attach/pdf/seibutsu_tayousei-14.pdf